

人口 9,257人

男 4,384人

女 4,873人

世帯 1,964

(44年2月末現在)
住民登録人口

あに

編集と発行 秋田県阿仁町役場総務課
印刷所 秋田県阿仁町阿仁合印刷所

1969

昭和44年

3月

77号

ボク一年生になるんだ

春の入学期をまえにして2月26日、阿仁合小学校で
ことし入学する児童の「1日入学」が行なわれました
雪の降る寒い中を、ママと一緒に子どもたちはよろ

こびに胸をはずませ、不安そうに見つめるママさんが
たの表情とは対照的でした。

ことしの入学数は、町全体で170名、昨年より二名
減となつていますが、一日入学の子どもたちは、一年
生になるよろこびで、雪溶けの春が待ちどおしくてな
らないようです。

阿仁合小学校で一日入学



各小学校の入学予定児童数

学 校 名	男	女	計	昨年度
阿 仁 合 小	37	42	79	65
大 阿 仁 小	17	22	39	43
中 村 小	8	2	10	18
荒 瀬 小	9	9	18	18
伏 影 小	4	9	13	10
根 子 小	8	3	11	12
三 枚 小	0	0	0	6
計	83	87	170	172

萱草分校と鍵の滝分校は入学予定者なし

入学前の子どもさんに必要な 心の準備としつけ

新入学児童のいるご家庭
では、入学をまえに、服装
のこと、持ちもののこと、
健康のことなど、おかあさ
んはあれこれと心を配って
おいでのことでしょう。

入学にあたって、最低こ
れだけは、身につけてさせ
ておきたいものです。

①自分の名前がわかる、書
ける、読める。

②あいさつが出来る。

③ハイ、イエエの意思表示
ができる。

④ハンカチ、チリ紙の使い
方と管理ができる。

⑤自分の衣服の脱着ができ
て、用便がたせるなど。

少しばかりの勉強に先走
るよりも、まず身のまわり

の始末ができるようにしつ
けることのほうが大切で
す。衣服の着かた、持ち物の
整理がちゃんとできるよう
お手洗いもじょうずにすま
せられるようにしておいて
くださることを、先生がた
は期待しております。

それに、こどもたちも、
これまでとは全く変わった
環境におかれるわけです。
ですからその生活に早くな
れるように指導し、はげま
してやりたいものです。そ
して、どんなしつけをする
にしても、もうすぐ一年生
になるよろこびを増してい
くような、心づかいがほし
いものです。

待たれる総合開発

山村振興地域に正式決定

旧大阿仁村

阿仁合地区の指定も有望

さきに、国の山村振興地域に内定されていた旧大阿仁地区が、このたび正式に指定地域に決定されました。これは、国の重点施策である地域開発の一環として実施されるもので、林野率が七十五%以上、人口密度が一ヘクタール当り一・一六人未満の開発の遅れているへき地山村が指定対象となつていま

す。山村振興のねらいは、当該地域の交通施策、教育文化厚生施設、産業基盤の整備、国土改善など、地域の総合的開発をすゝめるといふもので、当町で考えられる事業としては、橋梁架設、林道農道の整備、草地造成、基盤整備、学校、公民館、教員住宅の建築、ダム建設観光開発などがあります。

合地区の地域指定については、林野率が七十五%に未たないということでしたが再調査の結果、七十五%に達することが判りました。それによると、指定地域としての資格を有するためには、政令が出るか、国会での議員立法が必要ということとがわかり、現在このために交渉中です。もし、この指定が実現すれば、阿仁町は、町をあげての総合的な地域開発がすゝめられることになるわけです。

三億をこえた一般会計

四十四年度 定例町議会に提案

昭和四十四年度の方針を決める定例町議会が、三月十二日から開かれていますが、これには総額三億円を越す一般会計予算案が提案されています。

一般会計の予算総額は三億二千七百七十万円で、四十三年度より約八千万円多くその内訳は、教育費が八千四百万円、農林水産業費が六千四百万円、総務費の四

春は火災に注意

一年中で最も火災の多い季節春がやって参ります。

なぜ春先に多いかというと、空気が異常に乾燥してすべてのものが燃えやすくなっているのと、特に東北地方では、まだストーブなどの火気を取扱う機会が多いからです。

また、ながい冬の解放感で、つい注意を怠つたりすること、原因の一つとなつていようです。

春の火災は、ほかの季節よりも延焼火災が非常に多く、大火となつていふことも特徴のひとつです。

そういえば、阿仁町の大火も五月でした。あのおそろしい火災をいまだ一度思いおこして、不幸なことにならないようみんなで注意してほしいものです。

警鐘



治療はぜひ町立病院で

外科に博士の先生

ひろつてみますと、▲八十歳以上の老人の医療費を無料にする▲ごみ処理の実施▲戸島内・笑内・小様地区のは場整備▲畜殺場の改造▲高津森草地造成▲元屋敷馬見長根、陣場線の各林道布設▲羽立橋、フスベ橋の架設▲阿中グランド整備▲根子小の新築▲阿中屋体建築▲民放テレビ塔建設事業の負担金などがありますがいずれも定例議会で審議のうえ、正式決定となります。くわしくは、広報四月号でお知らせ致します。

町立阿仁病院では、地域住民の健康を保持する機関としてその役割を果たすため、年々設備の近代化と充実につとめてまいつていますが、一月から外科の医師に二人の博士が交替で診察にあたつており、医師の充実がはかられています。

病院では、このように、みなさんの信頼と期待にこたえられるよう体制を整えております。

病気の時はもちろん、ふだんの健康相談にもぜひご利用ください。

診療時間は午前九時から午後四時までです。

「ガンバレ石川選手」

スキーで
日本代表
ノルウエーに遠征



ラスのもので、競技はノルディック種目（ジャンプ、複合、距離）となっており、日本からは男女あわせて十名の選手（うち女子二名）が派遣され、世界の強豪と競うことになっています。

阿仁第二中学校出身で、現在湯沢北高一年生の石川きぬ子選手（比立内）は、このたび、ノルウエーのオスロで開かれる第七十七回ホルメンコーレン国際スキー大会に、日本代表として出場することになりました。この大会は、ことし開かれる国際大会ではトップク

歳末助け合い募金の決算書

昨年の暮に行なわれた歳末助け合い募金の結果、みなさんの善意として、十八万六千二百二十円の寄金がありました。

ご協力を感謝致します。

集まったお金は、配分委員会で協議の上、助け合いの主旨が生かされるよう、下記の通り配分いたしましたので、ご報告申し上げます

才末助け合い募金決算書

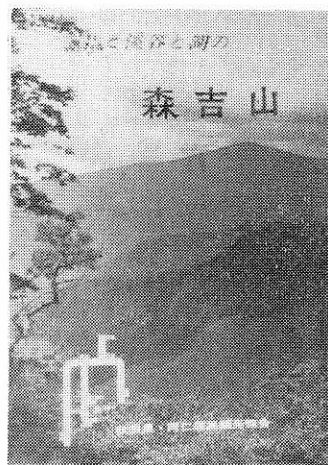
種別	人員	単価	配分金額
県 抛 出 金			3,000
郡 抛 出 金			5,000
救 救 出 金			3,000
(町内)			
生 保 家 庭	278	250	72,350
準 保 護 家 庭	142	250	35,950
長 期 入 院 者	33	500	16,500
老 人 ホ ー ム	46	300	13,800
罹 災 者 世 帯	2		10,400
小 計			160,000
(事務費)	枚		
募 金 封 筒	2,000		7,800
見 舞 金 封 筒	210	2	420
会 議 費			3,070
旅 費			2,480
小 計			13,770
町 社 協 繰 入 金			6,852
合 計			180,622

石川選手はまだ十六才、ことし行なわれた全国高校生スキー大会で第二位、国体や全日本スキー大会では、大人にまじって堂々と上位入賞するという成績をおさめ、三年後に札幌で開かれるオリンピックのホープといわれています。

ホルメンコーレンの大会は三月十三日から十六日まで、それがすむと、フィンランドのオーナスバラ国際スキー大会に出場（三月二十二日～二十三日）その間に各地方の大会に参加して三月下旬に帰国の予定です。石川選手は距離五K、十Kに出場する予定ですが、世界のひのき舞台での初の試練でもあり、十分に経験を積み、健闘されることを願っています。

出発にさきがけ二月二十一日、同選手は湯沢北高スキー部監督の入江種友氏と一緒に、役場にあいさつに見えられ、「ガンバッてまいります」と力強く語り、また、入江氏は「石川選手をおあずかりしていますが町民のみなさんの期待にそむかぬよう、今後とも努力してまいります、よろしくお伝えください」とあいさつされました。

◆ 森吉山ポスター出来る ◆ 自然公園紹介のパンフレットも



県立自然公園に指定された森吉山のポスターと、パンフレットが

出来ました。

ポスターは縦一米、横七十五厘のカラーで、当町小五郎沢林道の「披露峠」からうつしたものです。また、パ

ンフレットには森吉山周辺の各景勝地がカラーで紹介され、当町の安滝、露熊山峡、阿仁スキー場が紹介されています。シーズン待ち



つてポスターとパンフレットは、県内外に広くPRし観光客誘致の役割を果たすことになつていきます。

善意

老人ホームに慰問とおくりもの

老人ホームに次のような贈りものを頂戴しました。

○上新町の佐々木金之助さんから、老人達の理髪用にと洋カミソリ二丁と、セツケンカップ二ヶ。

○下新町の田村駿一さんから、老人達の娯楽用にとアサヒグラフを五〇冊。

老人ホームのみなさんとでも喜んでいました。

○二月九日、秋北報知新聞の嶺脇新一氏を代表とする鷹巣町の民謡クラブ一行十三名の慰問があり、老人達の好きな民謡をたつぷり

と聞かせてくれました。

当日は町長も同席し、お菓子をサービスして一日中楽しく過ごしました。

○二月十六日には、毎年慰問して下さっている阿仁町婦人会、及び日赤奉仕団のみなさんが（代表佐藤清子氏）総勢六〇名で慰問され、昼食その他料理をごちそうしたり、老人達と一緒にうたい、踊りなどを披露してくれました。

保育園だより

三月三日にひなまつり

三月三日、阿仁町保育園と幼稚園の合同ヒナ祭りがありました。

百五十名の園児が、寄贈されたカルピスで乾杯し、

ケーキやお菓子を食べながら、春を呼ぶヒナ祭りのうたを、元気よくうたっていました。

また、保育園に次のようにプレゼントがありました。

○二月三日の節分にたくさんの落花生と大豆を、荒瀬の湊アイさん、下新町辻訓さん、真木の細田健二郎さんよりいただきました。

○二月六日におやつを向岱の片岡勇蔵さんより

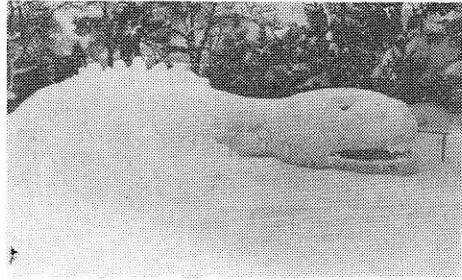
○二月二十一日、雑誌四十冊を畑町の加藤伍一さんから、児童文庫へ。

▲行事のおしらせ
三月十日「防火の日」に火災避難訓練

▲四十三年度卒園式
三月二十二日（土）午前十時阿仁町保育園で。

怪獣あらわる

阿小で雪の芸術



阿仁合小学校に怪獣が現われみんなをびつくりさせています。

これは、生徒の発案による雪の芸術作品で、十メートルもある巨竜、高さが四メートル以上のスフィンクスや秋田犬、そのほか意地悪ばあさんやインド像、ゴジラの息子、モスラの幼虫など、生徒のみごとな彫刻作品がずらりと校庭に並んでいます。

二月二十二日と二十三日にこの雪の芸術展があり、

最近、農業後継者が一人前になつていけば、経営の全責任を譲り、農地などの名義を書きかえておきたいという人が多く、農業委員会に申請が出ています。

このような農地の生前贈与について、特例がありますのでお知らせします。

農地法では、農地は耕作者が自ら所有することを最も適当であると認め、農地が農地以外に転用されるのを制限していますから、特別な場合を除いて、農業を行わない者の手に渡ることとはしないのですが、現在の民法上では農地の所有者が死亡した場合は均分相続と

それぞれの作品を審査した結果、秋田犬、ゴジラ、ワニなどが入選、「おもしろかつたで賞」などが受賞されました。(写真は巨獣)

お知らせ

固定資産課税台帳の縦覧

昭和四十四年度分の固定資産課税台帳の縦覧を役場でおこないます。

これは、市町村税である固定資産税を納税する方のために、あらかじめその税額の基礎となる固定資産(

なり、その農地が細分化されます。このように農地が細分化されることは、経営規模拡大という近代農業の方向を阻害するもので、問題でもあります。

そこで、農地保有の合理

農地の生前贈与とその課税の特例

化を図るには、まず農業後継者(推定相続人)への生前贈与が必要となります。

その場合、気がかりなのは贈与税のことですが、これは昭和三十九年に租税特別措置法により、「農地等の

が認められています。

そして相続のときは贈与がなかったものとして、相続財産に含めて相続税を計算するしくみになつておりますので、(この場合相続の基礎控除を四百万まで認

家、土地などの財産)の価格などを知らせるといふもので、この価格によつて固定資産税が課税されま

香典返しに一万円

野尻の高堰鉄弥氏

戸島内野尻の高堰鉄弥さんから、亡母サヨさんの香典返しに一万円を、町社会福祉協議会に寄贈されました。同協議会では、早速恵まれない人に役立てますと感謝しています。

役場の執務時間が変わりました

冬季時間であつた役場の執務時間が、三月一日から次の通り変わりましたのでお知らせします。

平日午前八時三〇分から
午後五時十五分まで
土曜午前八時三〇分から
午後三時三〇分まで

秋田博前売券をどうぞ

秋田博の前売券を発売中です。三月三十一日までお買い上げのかたには、車などが当る二度の抽せんが楽しめます。町内のタバコ小売店、農協、役場でお求め下さい。

慶弔だより 2月

◎ こんにちは・赤ちゃん

() は世帯主

西根 清人(清美) 幸屋

佐藤 義継(一義) 銀山

福島 直(晴) 下新町

片岡由佳子(鉄雄) 吉田

庄司恵美子(剛二郎) 真木

目黒 一高(高夫) 東 裏

◎ 結婚・おしあわせに

佐藤 昌弘 鷹巣町

宮越 昌子 下新町

福田 勝郎 荒瀬

松橋キミ子 合川町

田口 米雄 根子

佐藤ユミ子 上小阿仁

▲死亡・おくやみ申します

鈴木エシノ(71) 比立内
及川 ヨシ(87) 幸屋渡
杉沢力三郎(79) 大町
能登谷富蔵(61) 上 岱
大野 キエ(63) 新 町
佐藤 登(40) 根 子
梅村四五左門(81) 吉田

「広報あにが入選」

昭和四十三年度秋田県市町村広報コンクールで、阿仁町は広報紙の部で入選しました。

広報は現在、毎月一回十五日に発行、部数は二千二百部で、町内の全世帯及び各職場に配布し、更に県内各市町村との広報交換や、町の出身者で県外に住んでいるかた、冬期間は出稼者に故郷の便りとしていずれも無料で送っています。

町内の珍らしい話題や、町の発展のための提言、編集子への注文等、どしどしお寄せ下さい。

役場総務課

訂正 広報一月号の共

同募金実績の中で、根子部落一、四九〇円とありましたが、一四、九〇〇円の誤りにつき訂正しお詫び申し上げます。